

教育研究上の目的

経営工学科は、工学全般にわたる、経営工学に関する基礎的な理論と知識、経営管理システムの設計の原理と方法、企業経営に関する情報技術の活用方法を教授研究し、工学の基本的方法の素養及び経営工学の専門知識を駆使して、ものづくり、ロジスティクスをはじめとするあらゆるサービスの経営管理システムの設計・運用・管理及び分析・評価・改善ができる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、工学部経営工学科では、工学分野において要求される基礎的理論及び企業や社会において実践されている経営工学手法に関する専門知識と、それらを活用するためのスキルに関して、本学科の学生に習得させることを教育目標としています。

グローバル化や環境問題が重要視される現在の産業社会において、我が国における国際競争力の源泉となるための人材養成にむけ、コミュニケーション能力、国際感覚を洗練するための素養、持続可能な社会構築の視点等を重視した未来志向型の教育を目指します。さらに、実践の学問である経営工学は、変化する様々なビジネス環境において、自らが問題を発見し、その問題を解決するための能力も重要であり、そのような問題発見能力・問題解決能力を習得するため、フィールドを重視したテーマ課題を通して、実学重視の人材育成を教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学科の教育理念の下に定められたカリキュラムにおいて、卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる素養及び能力を有していると判定され、学士(工学)の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力
 - (1) 人間尊重の観点から社会システムを設計・構築・運用するための能力をもつ。
 - (2) 将来のための自学自修及び自己啓発の能力をもつ。
2. 国際的感性とコミュニケーション能力
 - (1) 人間としての豊かな教養をもち、人びととの高いコミュニケーション能力をもつ。
 - (2) 外国語能力を身につけ、国際的感覚を培っている。
3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能
 - (1) 数学・物理の基礎学力に加え、情報技術を身につけ、ものづくりの支援技術である生産技術の基本知識を有する。
 - (2) 品質、原価、納期を考慮し、持続可能な産業社会のための管理技術によって、製造業を中心とする企業の経営活動において、問題を発見し、問題を解決する能力をもつ。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、人間尊重の高い視点を持ち、工学の基本知識と実践能力に裏付けられた管理技術を身につけ、人びととの高いコミュニケーション能力をもち、経営活動のしくみを設計・構築・運用することを通じて産業の発展に貢献することによって、人びとの生活を豊かにする能力をもつ人材を育成するため、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施
 - (1) 理工学とマネジメントの基礎科目と情報処理科目を配置し、サービスを含むモノの生産・提供に必要なエンジニアリングの基礎を身につけるためのカリキュラムを編成し、実施しています。
 - (2) 管理技術と情報整理手法の科目を配置し、あらゆる組織活動の手段であるマネジメント・システム

分析・評価・設計ができる能力を身につけるためのカリキュラムを編成し、実施しています。

(3) 人間工学や環境マネジメントの科目を配置し、経営システムの設計・運用において人間、環境への配慮ができる素養を身につけるためのカリキュラム編成し、実施しています。

2. 教育の方法と評価

(1) 演習科目や卒業研究等の少人数教育を通じて、コミュニケーション能力を養い、実践的な問題解決能力を培っています。

(2) 単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

1. 大学教育によって培う能力

(1) 本学科では、人間尊重の高い視点を持ち、工学の基本知識と実践能力に裏付けられた管理技術を身につけ、人びととの高いコミュニケーション能力を持ち、経営活動のしくみを設計・構築・運用することを通じて産業の発展に貢献することによって、人びとの生活を豊かにする能力をもつ人材を育成します。

2. 本学科の求める入学者

(1) 数学、英語、理科等、工学を学ぶための基本を修得している人

(2) 科学的・工学的・物理的な考え方や方法に関心の高い人

(3) 製品やサービスを生み出すことと、それを管理するしくみを創ることによって人びとを幸せにしたい人

(4) 観察が好きで、加えて論理的・緻密に考えることができる人

(5) 社会や経済の動きに関心を持つ人

(6) 人間が好きで、集団の中でチームワークを保ち、自分の役割を果たすことができる人

3. 高校までの能力に対する評価（選抜方法）

(1) 本学科では多様な入学試験を実施することにより、高等学校での学習を通じて大学での学びに必要な基礎学力及び論理的思考力と、経営工学に関する知識の修得やグローバル社会への貢献に強い関心を有する学生を受け入れます。